

鮭 延 繩 漁 業

一 般 漁 況 (那 霸 根 據 ノ モ ノ)

九 月 中 出 漁 船 數 二 四 隻 航 海 數 一 〇 五 航 海 下 旬 ニ 入 リ 五、六 隻 ハ ま ち 釣 ニ 轉 業 ス ル モ ノ ヲ 見 ル。主 要 漁 獲 物 キ は だ、ば
ち 八 八 本 黑 皮 六 五 六 本

十 月 中 出 漁 船 數 一 九 隻 四 五 航 海 天 候 不 良 ニ テ 航 海 數 少 シ、中 旬 以 降 底 物 一 本 釣 ニ 轉 換 ス ル モ ノ 續 出 セ リ 主 要 漁 獲 物 キ は
だ、ば ち 三 九 本 黑 皮 一 四 八 本

十 一 月 中 出 漁 船 數 八 隻 一 七 航 海 天 候 不 良 續 ニ テ 操 業 意 ノ 如 ク ナ ラ ズ 下 旬 ニ 入 リ 二 隻 ま ち 釣 ニ 轉 ス 主 要 漁 獲 物 キ は だ、ば
ち 五 本 黑 皮 七 〇 本

十 二 月 中 出 漁 船 數 六 隻 一 七 航 海 季 節 風 ノ 爲 操 業 ヲ 妨 ゲ ラ ル、中 旬 以 降 二 隻 ま ち 釣 ニ 轉 業 餌 料 割 合 ニ 多 シ 主 要 漁 獲 物 キ は
だ、ば ち 一 〇 本 黑 皮 二 四 本

一 月 中 出 漁 船 數 四 隻 八 航 海 季 節 風 下 餌 料 不 足 ノ 爲 航 海 數 甚 敷 ク 減 ズ 主 要 漁 獲 物 キ は だ、ば ち 二 本 黑 皮 一 本

二 月 中 出 漁 船 一 隻 一 航 海 前 月 ニ 引 續 餌 料 天 候 都 合 惡 シ 小 型 船 ハ 殆 ド ま ち 釣 ニ 轉 業 ス 重 要 漁 獲 物 キ は だ、ば ち 八 本 黑 皮 一
本

三、 鱈 漁 業 餌 料 蓄 養 試 驗

一、 趣 旨

當 試 驗 ノ 要 旨 ハ 昭 和 六 年 度 事 業 報 告 第 四 五 頁 ニ 記 載 セ ル ガ 如 ク 本 縣 ト シ テ ハ 最 モ 速 急 ニ 研 究 改 良 ス ベ キ 事 項 ナ リ

依テ試験第一年月昭和六年度ニ於テハ蓄養試験項目ヲ成ルベク多數ニ亘リ施行シタル結果該試験ノ研究ヲ進ムベキ必要項目ノ順位ヲ概略察知セルヲ以テ本年度ニ於テハ之レニ從ヒ試験ヲ施行ス

二、施行方法

本試験ハ第二年月ノ試験ニシテ前年度ニ於ケル試験結果ヲ參考トシ試験項目ノ撰擇ニ留意シ不急ノ項目ヲ除キ基本的研究ニ着手ニ便ナラシメントセリ

第一年月ト本年度ノ施行項目比較左ノ如シ

第一年月（昭和六年度）

計劃方法

1、蓄養餌料種類ノ試験

- イ、地方産ノモノ（從來ノ追込網漁獲ノモノ）
- ロ、集魚燈使用捕獲ノモノ（本場ノ試験漁法）
- ハ、他縣ヨリ買入ノモノ

2、蓄養設備ノ試験

- イ、蓄養設備ノ研究
- ロ、蓄養地ノ研究
- ハ、適種餌料ノ選定

3、經營上ノ參考資料研究

- イ、蓄養量ノ適量

ロ、餌料ノ集中方策

ハ、生産季節ト蓄養期間

第二年目（本年度）

計劃方法

1、蓄養餌料種類ノ試験

イ、縣内産ノモノ（追込網漁獲ノモノ）

2、蓄養設備ノ試験

イ、蓄養設備ノ研究

ロ、蓄養地ノ研究

ハ、適種餌料ノ選定

3、經營上ノ參考資料研究

イ、蓄養量ノ適量

ロ、餌料ノ集中方策

ハ、生産季節ト蓄養期間

右ノ如ク施行項目ヲ取捨セル理由ハ前年度試験ノ結果ニ依ルヲ以テ本年度ノ成績ト比較シ後段試験ノ經過ノ項ニ於テ記録スベシ

三、經過

本年度試験ハ昭和七年四月ヨリ準備ニ着手シ六月七日設備完了ス

全月八日ヨリ第一回餌料ノ漁獲ヲ見タルヲ以テ全日ヨリ蓄養ニ開始シ以後全年九月九日蓄養場ヲ閉止スル迄ノ期間

八四ヶ月ニ亘リ日數九十三日トス

此ノ期間ハ本縣沖合ニ於ケル鯉漁業ノ盛漁期ヨリ終漁期迄ニシテ前年度ニ於テモ之レト略同一ナル結果ヲ示セリ
試験ノ狀況並經過ノ内容ヲ前項計劃方法記載ノ順ニ記ス

1、蓄養餌料種類ニ付テ

イ、本縣下ニ於ケル餌料ノ種類ノ一般状態ニ付テハ前年度報告ノ所載ノ如キ事情ニ依リ本年度ハ縣内産「ガツン」ノミニ付キ當初ヨリ全力ヲ注ギ試験ヲ行ヒタリ此間參考トシテ他ノ餌料種類ノ情報ヲ参照比較セルニ遠洋漁船用トシ又ハ蓄養用トシテハ「ガツン」以外ノ種類ハ何レモ前年度報告ノ如キ不満足ノ點多キヲ知ル

備考 一、本年度ハ焚入網ニ依ル漁獲餌料ハ蓄養供給用トシテハ豫定セズ單ニ焚入網使用法及魚群ノ集中状態ノ試験トセリ

二、他縣ヨリ移入餌料試験ハ本年ハ之レヲ行ハス

(理由 昭和六年度報告ニ追記セル所ト全様)

2、蓄養設備ニ付テ

イ、竹籠生州

前年使用ノモノ	六 箇
前年末使用ノモノ	六 箇
本年新調ノモノ	拾五 箇

○前年度使用ノ竹籠ハ蓄養魚ノ状態ニハ良好ナレドモ取扱上形大ニ過ギ蓄養設備設置場所ノ周圍ニ淺礁多キコト及一般漁業者ニ使用普及ノ爲メ取扱ノ簡便ヲ謀リ本年度小形トセリ
即チ本年製作寸法左ノ如シ

長、巾、深、 七、五×五、五×五、五 (單位尺)

(備考) 前年度八、〇×六、〇×六、〇 (單位尺)

竹籠ハ新製ノモノハ主トシテ馴致セルモノニ又ハ漁獲少量ノ場合ニ使用シ前年度ノ大形ノモノハ新餌又ハ漁獲量多キ場合ニ使用スルコトトセリ

○竹籠保存状態

前年度使用ノモノハ竹質脆弱トナリ取扱中破損シ易ケレドモ蓄養現場ニテ使用中ニ破損スル如キコトナシ然シ本年度事業終了後陸上シタルモノハ殆ド彈力ナク此レ以上ノ使用不安ナルヲ以テ竹籠使用年限ハ二箇年間ニ漁期ト見ルヲ適當トス

○浮子竹

竹籠ニ取付ノ浮竹(孟宗徑四寸長八尺及一丈)ハ第二年目使用シ得ルモノハ半数ナリ

○竹籠製作

前年ト全様二月中ニ鹿兒島縣産竹材ヲ買入豫約シ運搬便宜ノ爲メ全地ニ於テ割竹骨竹及浮竹ヲ組立ノ寸法ニ切り調ヘタルモノヲ本縣名護町ノ蓄養實施地ニ送付セシメ五月四日ヨリ全月二十四日迄ニ組立職工二名ニテ完成セリ

○網生洲

前年度使用ノモノヲ使用ス

網生洲使用回数少キヲ以テ使用後ノ手入レニ注意セル爲メ二年目ニ於テモ充分使用シ得タリ

本年度試験中ハ前年度ノ蓄養ノ經驗ニ依リ成ルベク網生洲ヲ使用セザル様ニセリ

網生洲ハ多漁ノ際一時收容シ竹籠ノ都合繰合セ次第之レニ分配ス

網生洲上部周圍ノ水面上ニ露出スル逃出發防ノ網立ハ一尺迄ニテ充分其ノ用ヲ爲ス

○生洲設置方法

五〇

設置方法ハ別葉附圖ノ如キ形式ニシテ前年ト全一ナリ

但シ本年ハ側綱ヲ百七十尺トシ又浮竹ハ長尺物(長十八尺)ヲ使用シタリ此ノ結果ヲ見ルニ長尺物ハ取付作業ニ便利ニシテ且ツ浮力大ニシテ短尺物ヨリ適當ナリ

ロ、蓄養地

蓄養地ノ選定ハ當試驗ノ重要ナル項目ノ一ニシテ本年度試驗ハ前年ト全一地方ニ行ヒタリ

東海岸ニ於テハ前年度ト同シク實施スベキ實況ニ至ラズシテ漁期々ヲ終レリ本年度蓄養場ハ數回ノ荒天ヲ經タルモ被害ナク只一回八月二日暴風ニ生洲籠ノ一部ヲ流失シタルモ設備ノ他ノ部分ニハ被害ナク現實施海區ハ適當ナル位置ニシテ設備ノ程度モ略現狀ニテ適當ト思惟セララル

但シ側網定置用ノ錨稍輕キ爲メ次期ヨリ大形ノモノヲ使用スルノ要アリト認メララル

ハ、餌料ノ選定

本年度漁獲餌料ハ殆ド全量ヲ餌料ニ供給シ得ル程度ノモノナリシヲ以テ大部分ヲ蓄養セリ

八月以後ニ到リ魚体過大ナルモノアリテ數回鮮魚市場へ販賣セリ

六月中及七月中ノモノハ餌料トシテハ最モ適當ナル形ニシテ試驗船圖兩丸及當業者所有船ニ於テ使用ノ成績モ良好ナリ

餌料トシテノ魚体大サハ体長三寸(全長四寸二分)迄ヲ最大限度トシ体長二寸五分(全長三寸五分)ノモノヲ最適當トス

3、經營上ノ參考資料トナルベキ事項

イ、蓄養量

蓄養量ハ前年度ニ於テハ竹籠一個收容量百五十斤ヨリ二百斤迄ヲ適當ト認メタルモ名護蓄養場ノ海區ハ「潮通り」良好ナリシ爲メ二百斤ヨリ二百五十斤迄ノ收容支障ナキヲ認メタリ

適當量ハ二百斤内外ヲ經營上ニモ亦取扱上ニ於テモ適度トス

網生洲ノ蓄養量ハ前段設備ノ項ニ記載ノ如ク一時的收容ノ目的ニテ蓄養量ハ前年度報告ノ通りトス

ロ、餌料集中方策

餌料集中方法ハ前年度ト同様ニ地方追込網漁業ト漁期前ニ協定約束シ餌料ニ適スルモノハ全量ヲ一旦蓄養シ鯉漁船ニ供給ノ際價額及斤量ヲ正確ニ秤量スルコトトセリ

尚蓄養試験期間中時々餌料漁業者團體六組ヨリ各組二名宛ノ代表者ノ會合ヲ求メ相互聯絡協調ヲ爲シ需給兩者圓満ニ此ノ期間ノ事業ヲ遂行セリ

備考

本試験期間中ハ看視員事務所ニ海洋觀測用具、氣象觀測用具、漁具標本等ヲ本場ヨリ一時携行備付ケ關係漁業者指導シ天候異狀ノ際ハ出漁者ニ注意セル爲數回ノ暴風襲來ノ際モ大ナル被害無ク間接ニ本事業ヲ順調ニ進捗シ得タリ

ハ、生産期節ト蓄養期間

本年初漁ハ六月五日ニシテ此ノ「ガツン」群ハ六月三日灣内淺礁ニ集中シツツアルヲ發見シタリ發見當時ハ少量ナリシモ毎日増加シ六月八日ニ至リ相當量トナリシヲ以テ追込網ヲ使用シ漁獲セリ

附記

○「ガツン」ノ習性

灣口附近ヨリ灣内ニ入り込ミ當時ハ散亂シ居リ群形ヲ成サザルモ灣奥ニ入り其一部分淺礁(珊瑚礁)ノ間ニ停滯シ

初ムルトキハ漸次此處ニ集合

五二

漁業者ハ毎日一二回之レヲ見廻リ、充分集合セル時之レガ捕獲ニ着手ス集合群ガ最大トナルトキハ魚群ハ二群又ハ三群ニ分裂シ又ハ急速ナル移動ヲ爲スヲ以テ捕獲適當時機ヲ逸スルトキハ大ナル損失トナル然レドモ魚群ノ此ノ状態ハ觀測ニ因リ推知シ得ベキ兆候又ハ習性ヲ未ダ發見セズ現在ハ出漁者ノ自己判斷ニ依リ行ハレツツアリ

○本年最終漁獲ハ九月五日ニシテ此ノ前後ヨリ魚体大形ニシテ餌料ニ不適當トナリ蓄養事業ヲ閉止ス
○餌料魚体ノ狀況

六月初旬 体長七五耗

中旬 〇 九〇

下旬 〇 八三

七月初旬 〇 九〇

中旬 〇 八二

下旬 体長

八月初旬 〇 七八耗

中旬 〇

下旬 〇 一二五耗 過大餌料ニ不適

九月初旬 〇 一一八 〇

蓄養期間

○本年度蓄養事業期間ハ六月八日ヨリ九月九日迄九十三日間トス

○蓄養回数 二十三回

○蓄養日數 最長ノモノ 一日

最長ノモノ 五十一日

漁船へ供給セル最長ノモノ二十五日

○最長五十一日間蓄養ノモノハ生存期間試験ノ爲メニシテ五十一日目ニ於テハ非常ニ瘠セ餌料トシテノ供給ニ適セザル状態トナル四十日目迄ハ供給可能ノ程度トス五十一日目ニ暴風ニテ流失セリ

○之レヲ前年度ト比較スルニ前年度ニ於テハ二十九日間蓄養ノモノヲ餌料トシ十日間出漁シ歸港後猶十一日間生存シ通算五十日ニ至リ全斃セリ

本年度ノモノハ蓄養ノママナリシ爲メ五十一日目ノ觀測當時ノ状態ヨリ推シテ尙五、六日間保持シ得ル見込ナリ

四、試験結果摘要

1、飼料トシテノ「ガツン」蓄養ノ着手時期ハ前年及本年ノ試験ニ依リ特別ナル漁期ノ遲速ナキ限り六月初メヨリ九月初メマデト爲シ初漁期ノ優良餌料ヲ逸セザル爲メ準備ハ五月中旬迄ニ完成スルヲ以テ安全ナル計劃トス

2、初漁期ノ豫測ハ海洋的又ハ氣象其ノ他ノ觀測ニ依ル資料乏シク、豫測困難ナルモ魚族ノ集散ノ習性ニヨリ漁獲日ノ四五日以前ニ發見シ得ルヲ以テ準備所要ノ日時ハ充分ナリトス

3、竹籠ノ大少

蓄養竹籠ノ大形ナルモノハ良好ナレドモ本年度使用ノ小形ノモノニテモ蓄養取扱上ヨリ支障ナシ

但シ之レ以下ニ小形トスルコトハ蓄養態率適下甚ダシク經營上ヨリスルモ此ノ程度ヲ以テ適當ト見ラル

4、竹籠保存狀況

二ケ年間迄ト詳細ナル狀況ハ第三年目ノ試験ニ依リ確定スルヲ以テ本項ハ次年度ニ詳報スベシ

5、蓄養位置選定

本年蓄養試験中附近ノ灣内其他適地ニ就キ觀察スルニ風波潮流ノ關係上前年度報告書ニ記載ノ要領ト同一ナルコトヲ認メタリ

因テ詳細ハ省畧ス

6、餌料選定

本試験ニテ年間ノ成績ニ依リ初漁期ヨリ七月下旬迄ノモノハ適當ニシテ殆ド漁獲ノ全量ヲ餌料トスルコトヲ得レドモ八月以後ニハ魚体過大ノモノアリテ餌料トシテハ大、小區別シ選定スルヲ要シ、九月以後ニ於テハ殆ト適當ナルモノ無シ

○魚体ハ体長三寸(全長四寸三分)迄ヲ適當トシ以上ノモノハ使用ニ耐ヘズ

7、蓄養量ハ小形籠ニテ二百斤迄ヲ經營上適當トス

前年度ニ於ケル見込ヨリ尙二割ノ蓄養量ノ増加支障ナキモノト認メラル

8、蓄養餌料ノ漁船ニ供給シ得ル程度ノ最長日數ニ付テハ尙今後充分ノ試験ヲ續行シ本試験ノ最大ナル目的ヲ達セムトス

畜養場觀測日誌摘要

昭和七年度

月日	天候	風		氣溫	水溫	比重	漁獲量	備	考
		向	力						
五月 二十六日	雨後晴	南	一						
五月 二十七日	曇後晴	全							
五月 二十八日	曇後雨	全							
五月 二十九日	曇	全							
五月 三十日	曇後晴	全							
五月 三十一日	晴後曇	全							
六月 一日	雨後曇	全							
六月 二日	曇後晴	南	二						
六月 三日	全	全							
六月 四日	全	全							
六月 五日	曇	南	二						
六月 六日	曇後雨	南西	二						
六月 七日	曇後晴	全							
六月 八日	晴後曇	北々東二							
六月 九日	曇	東微南一							
六月 十日	曇	北東三							
六月 十一日	曇	東南東二							

名護地方狀況看視ノ爲メ係員一名往復

觀測器具(アネロイド晴雨計棒狀寒暖計)玉屋へ注文

蓄養係日誌其他關係帳簿整理作製竹材注文

甘利技師本試験打合ノ爲名護出張蓄養用品發送準備

蓄養用具(鉛ロープ類附屬具)名護發送蓄養用品取揃準備

名護事務所決定ノ電話有リ(甘利技師)焚入用傳馬修理成ル

試驗用具名護發送準備中 籠工本日本來縣名護へ出發ス

廣吉組ガツン、〇〇〇斤初漁電報照會アリ甘利技師歸場、竹材名護齎

試驗用品取揃準備

全上

試驗用品取揃準備成ル 浮竹三〇本名護發送済

龜四組名護口ニテ一〇〇斤漁獲 千鳥丸(係員同乗)名護へ出帆

千鳥丸到着臨時船員ノ件及成申丸へ餌料分與問合セノ電話ス臨

時船員當地ヨリ一名乗船 廣吉組七五〇斤龜四組一二〇斤トシ蓄養用トス 昨年初漁四〇尾ニ比シ魚体著シク小形餌料ニ最適ナルトス 玉城組名護口出漁々ナシ 目標用旗竿設立ス

七月一日	七月二日	七月三日	七月四日	七月五日	七月六日	七月七日	七月八日	七月九日	七月十日	七月十一日	七月十二日	七月十三日	七月十四日	七月十五日	七月十六日	七月十七日	七月十八日	七月十九日	七月二十日	七月二十一日	七月二十二日	七月二十三日	七月二十四日	七月二十五日	七月二十六日	七月二十七日	七月二十八日	七月二十九日	七月三十日	
曇	曇	曇後雨	曇後晴	曇	晴後曇	晴後曇	晴後曇	雨後曇	雨後曇	晴後雨	晴後曇	曇後晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
南々東三	南	西微南一	西微南一	南々西四	南々西四	西微南三	東北東二	南	南	南々西一	西南西二	西南西二	西南西三	西南西三	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
二七、一	二七、九	二六、八	二六、二	二八、四	二八、四	二七、五	二五、八	二五、三	二六、七	二六、七	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二七、四	二七、四	二七、四	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三	二六、三
一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三	一〇四九三
六〇〇斤	一〇〇斤																													

廣太郎組東江海岸ニテ一〇〇斤漁獲アリ 浮竹作製開始
 龜二郎組名護口ニテ二〇〇斤漁獲アリ 側網、浮竹結付作業
 前日來ノ豪雨ニテ海水濁リ魚群見分離シ 本日モ側網浮竹結付
 作業續行
 風浪ノタメ著陸中ノ籠接網切斷サル直ニ結付鐵網ヲ増ス會計書
 類整理
 側網敷設作業開始本日一時中止
 側網敷設續行本日止ス戌辰丸廣太郎組餌料一〇〇斤積込即日
 出港
 側網敷設完了敷設状況良好籠工本日右籠修繕
 龜二郎組名護口ニテ二五〇斤漁獲アリ 浮竹調ヲナシ使用可能
 膠品整理ス
 龜四組宮里ニテ一〇〇斤漁獲アリ 岡南丸入港明朝出帆豫定
 廣吉組宮里浦太郎組名護口出漁々ナシ 岡南丸著陸用餌料積込出帆
 廣吉組名護口出漁スルモ見當ラズ 本日夕刻ヨリ天氣回復ス
 浦太郎組名護口見廻リニ行クモ見當ラズ 午後豪雨ノタメ比重側定
 出來ズ
 朝來ノ豪雨ニテ灣内一帶濁リ測定出來ズ 籠工一名歸場
 龜次郎組名護口出漁々ナシ 籠工歸場龜次郎組餌料二〇〇斤ト
 決定著陸用トス
 廣太郎組世富慶龜四組東江出漁ナシ 生洲網修理作業
 浦太郎組名護口出漁々ナシ 側網、籠、結付作業ヲナス
 廣太郎組東江濱八〇〇斤漁アリ 廣吉組宮里名護口漁ナシ 生洲網修繕
 龜二郎組名護口出漁々ナシ 焚入豫定ナルモ天氣都合上見合セ
 廣太郎組東江濱ニテ一〇〇斤漁獲アリ 本日モ焚入天氣都合上
 見合セ
 龜二郎組名護口(六〇〇斤) 廣吉組許田(ナシ) 千鳥丸「ガツ
 」集否狀況調査ノタメ許田沖出帆

二日	曇後雨	南西	三	三六、八	三六、三	一〇三、四	一、〇〇〇斤
三日	曇	全	二	三五、九	三六、三	一〇三、七	
四日	雨後曇	南	二	三六、七	三六、七	一〇三、四	
五日	曇後晴	南微西	二	三六、九	三六、六	一〇三、七	
六日	晴	南西	一	三七、三	三七、〇	一〇三、〇	
七日	全	南西微西	二	三七、九	三七、七	一〇三、九	六〇〇斤
八日	全	西	二	三七、九	三七、四	一〇三、三	
九日	全	南々東	二	三六、九	三七、九	一〇三、七	
十日	全	南	一	三六、五	三六、四	一〇三、八	
十一日	全	南	一	三六、四	三六、五	一〇三、九	一〇〇斤
十二日	全	全		三六、一	三六、一	一〇三、三	
十三日	全	西南西	一	三六、八	三六、六	一〇三、四	
十四日	全	全		三六、七	三六、五	一〇三、三	
十五日	全	北々東	一	三七、九	三七、五	一〇三、九	
十六日	全	東	一	三六、四	三六、八	一〇三、三	一〇〇斤
十七日	全	西南西	一	三六、七	三六、七	一〇三、三	
十八日	全	南西	一	三六、七	三六、一	一〇三、二	
十九日	全	西南西	一	三六、六	三六、三	一〇三、三	
二十日	晴後曇	南東	一	三七、六	三六、四	一〇三、七	
二十一日	晴	南	一	三六、〇	三七、七	一〇三、八	

龜四組名護口出漁一〇〇〇斤漁獲アリ 焚入許田沖出漁
 蒲太組名護口出漁スルモ海濁ノ爲メ見當ラズ焚入不良 本日海
 濁ノタメ焚入見合セ
 廣吉組名護口出漁スルモ漁ナシ 焚入豫定ナルモ天氣都合上見
 合セ
 玉城組名護口出漁々ナシ 岡南丸入港焚入始メ出帆
 廣太郎組名護口出漁々ナシ焚入不良岡南丸餌料積込出帆焚入出
 漁
 玉城組世富慶(六〇〇斤) 龜次郎組名護口(ナシ)焚入不良
 焚入ムロ三〇斤位 焚入海水混濁ノタメ見合ス
 玉城組名護口へ出漁々ナシ 焚入出帆
 廣吉組名護口出漁々ナシ
 龜二郎組世富慶(一〇〇斤)玉城組名護口(ナシ)焚入試験終了千
 島丸歸朝
 龜四組名護口出漁々ナシ 焚入網修理作業ス
 蒲太組名護口出漁々ナシ 岡南丸入港
 廣吉組名護口出漁々ナシ 岡南丸餌料積込出帆
 蒲太組名護口出漁々ナシ
 廣吉組名護口ニテ一〇〇斤漁獲アリ
 玉城組名護口出漁々ナシ
 廣太郎組名護口出漁々ナシ 焚入使用具發送依頼ノ電話有リ
 龜次郎組名護口出漁々ナシ
 龜四組名護口出漁々ナシ 焚入使用具龜津丸發送ス
 蒲太組世富慶出漁々ナシ

日	八月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
二十三日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日	三十一日	八月一日	八月二日	八月三日	八月四日	八月五日	八月六日	八月七日	八月八日	八月九日	八月十日	八月十一日	
晴	晴	全	晴後曇	晴	晴後曇	曇後晴	曇	全	曇後晴	曇後雨	曇	全	曇後晴	曇後雨	曇	曇後雨	曇	曇後雨	曇	曇	
東南東	北々東	全	南東	北	東	東南東	東	北東	東南東	南	南々西	南西微西	南	東南東	東南東	北東	北	全	西	西	
二七、九	二八、八	二八、五	二九、五	二九、五	二九、七	三〇、〇	二八、〇	二七、九	二七、〇	二七、一	二七、二	二七、九	二八、二	二八、五	二八、五	二七、五	二七、五	二七、五	二七、五	二七、六	二七、六
二九、六	二九、〇	二九、二	二九、六	二九、二	二八、九	二八、八	二七、八	二六、六	二七、〇	二七、〇	二七、一	二七、九	二八、一	二八、三	二八、三	二七、三	二七、四	二七、四	二七、〇	二七、三	二七、三
101584	101529	101563	101568	101554	101548	101559	101658	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559	101559
六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤	六〇〇斤

廣吉組名護口出漁々ナシ
 蒲太組名護口出漁々ナシ
 廣太郎組名護口出漁々ナシ
 龜次郎組名護口出漁々ナシ
 龜四組名護口出漁々ナシ
 蒲太組名護口出漁々ナシ
 廣吉組名護口出漁々ナシ 午盾ヨリ天候險惡トナル
 玉城組名護口出漁々ナシ 籠側網結付作業ナス
 廣太郎組天氣惡シキタメ出漁見合セ
 龜次郎組天氣惡シキタメ出漁見合セ
 天氣險惡トナリ暴風防備作業ヲナス 籠側網結付作業ス
 蓄養中ノ籠流出シ蓄養魚皆逃逸ス
 天氣漸次快方ニ向フ 流出籠陸揚ゲ作業ヲナス
 本場ヨリ餌料有無ヲ電話ニテ問合セアリ夕刻ヨリ風模様トナル
 龜四組世當度出漁六〇〇斤漁獲アリ
 龜二郎組名護口(ナシ)廣吉組許田三〇〇斤アリ過大ニシテ餌料ニ不適當
 玉城組許田ニテ一、〇〇〇斤漁獲
 廣太郎組許田ニテ一、〇〇〇斤漁獲 廣吉組濱元丸へ給與、玉城組那朔市場販賣
 廣吉組名護口出漁々ナシ
 廣吉組本日迄ニ給全部市販賣若干殘ル龜四組籠流出シ皆逃逸太
 榮丸入港廣太郎組餌料九三五斤トシテ積込出帆

十一日	全	南西 四	二八、〇		
十二日	全	西南西 四	二八、一		
十三日	全	全 三	二八、五		
十四日	全	全 三	二八、九		
十五日	晴	西徽南 二	二八、一	二八、四	六、〇〇〇斤
十六日	晴後曇	西徽南 一	二八、三	二八、六	九〇斤
十七日	晴	西南西 一	二九、一	二九、五	
十八日	全	南西 二	二九、三	二九、六	
十九日	全	西徽南 二	二九、七	三〇、〇	三〇〇斤
二十日	曇後晴	西 一	二八、六	三〇、三	
二十一日	曇後雨	北 一	二七、三	二八、九	
二十二日	曇	全 三	二七、二	二六、九	
二十三日	全	南 六	二六、一		
二十四日	全	全 三	二七、八		
二十五日	晴	南東 二	二七、六	二六、六	八〇〇斤
二十六日	全	全 一	二七、〇	二七、一	一、〇〇〇斤
二十七日	全	東北東 一	二六、五	二六、八	五〇〇斤
二十八日	全	西南西 一	二六、四	二七、三	一、〇〇〇斤
二十九日	全	南 一	二六、九	二七、八	三〇〇斤
三十日	全	南東 一	二七、五	二七、三	一〇五、二

龜四組 殘餌市販賣 風波強ク觀測困難
 風浪強ク觀測及出漁見合せ 廣吉組「ガツン」流失
 廣吉組 山入端出漁々ナシ
 廣太郎組 許田出漁海濁ノタメ見當ラズ許田在中ノ廣吉組、廣太郎組ガツン流失
 廣吉組 山入端ニテ六、〇〇〇斤漁獲アリ 本部重寶丸へ一〇〇斤給與
 玉城組 山入端(三〇〇斤)龜四組許田(六〇〇斤)アリ 廣吉組本部漁船へ全部給與ス
 玉城組 勝榮丸へ二五〇斤龜四組大榮丸へ五三二斤給與舊盆ノタメ出漁見合せ
 廣太郎組 山入端出漁々ナシ
 玉城組 許田ニテ三〇〇斤漁獲アリ 直ニ本部勝榮丸へ供與
 龜四組 許田出漁々ナシ
 廣太郎組 名護口出漁々ナシ
 午后ヨリ風波強クナリ觀測出來ズ
 風波強ク觀測出來ズ
 龜次郎組 名護口、廣吉組許田へ出漁スルモ漁ナシ
 玉城組 許田ニテ八〇〇斤漁獲アリ 直チニ勝榮丸大榮丸へ四〇〇斤宛給與ス
 蒲太郎組 名護口ナシ廣太郎組許田ニテ二、〇〇〇斤直ニ勝榮丸三〇〇斤大榮丸二五二斤給與
 廣吉組 名護口(ナシ)龜二郎組許田ニテ五〇〇斤漁獲アリ 廣太郎組大榮丸へ三六〇斤給與
 龜次郎組 恩納ニテ一、〇〇〇斤漁獲アリ 直ニ濱元丸へ五〇〇斤給與
 蒲太郎組 許田ニテ三〇〇斤漁獲アリ 直ニ陸揚ゲ市販賣ス
 廣吉組 許田出漁々ナシ

九	三十一日	全	南	一	二七、四	二六、七	101518	200斤
一	全	全	全	一	二七、五	二七、五	101510	300斤
二	晴後雨	南東	南東	一	二七、四	二七、五	101510	
三	晴	南	南	一	二七、七	二七、八	101516	
四	全	全	全	一	二六、八	二七、一	101516	
五	曇	東	東	一	二六、三	二七、五	101517	150斤
六	全	北々東	北々東	一	二六、五	二七、〇	101518	
七	晴	北	北	一	二六、五	二六、五	101518	
八								
九								

玉城組許田ニテ二〇〇斤漁獲アリ廣太郎組殘餌皆陸揚市販賣ス
 廣太郎組許田ニテ三〇〇斤漁獲アリ 玉城組殘餌皆陸揚市販賣
 濱所々ニ陸揚ケセル籠全部籠置場へ運搬ス
 龜四組許田ニ出漁々ナシ
 蒲太組許田出漁々ナシ
 廣吉組許田ニテ一五〇斤漁獲アリ
 玉城組許田出漁々ナシ 本試験中止引揚準備ノ電話アリ
 側綱引揚作業 千島丸木原技手乗込來名
 蓄養試験用具全部發送完了千島丸係員一名便乘歸場
 木原技手外係員一名名護引揚歸場

蓄養狀況及需給狀況

昭和七年度

六月五日	七五〇斤	三籠	廣吉組	六月廿一日	十八日	圖南丸	蓄養用トシテ買入蓄養中ノモノ
六月八日	一三〇斤	一籠	龜四組	六月廿七日	十二日	全	全
六月十二日	一〇〇斤	全	廣太郎組	六月十七日	六日	戌申丸	一〇〇斤トシテ
六月十三日	二〇〇斤	全	龜二郎組	七月十四日	五十一日	圖南丸	八月二日風浪ノ爲メ皆逃逸ス 長期蓄養中
六月十九日	二五〇斤	全	全	七月十四日	二十五日	圖南丸	蓄養用トシテ買入蓄養中ノモノ

六月廿日	六月廿八日	六月三十日	七月一日	七月二日	七月七日	七月十一日	七月十二日	八月五日	八月六日	八月七日	八月八日	八月十五日	八月十六日	八月十九日		
一〇〇斤	八〇〇斤	一〇〇斤	六〇〇斤	一、〇〇〇斤	六〇〇斤	一〇〇斤	一〇〇斤	六〇〇斤	三、〇〇〇斤	一、〇〇〇斤	一、〇〇〇斤	六、〇〇〇斤	三〇〇斤	六〇〇斤	三〇〇斤	
全籠	三籠	一籠	二籠	三籠	三籠	一籠	一籠	三籠	同組所有 網生洲	即日陸揚						
龜四組	廣太郎組	全	龜二郎組	龜四組	玉城組	龜二郎組	廣吉組	龜四組	廣吉組	玉城組	廣太郎組	廣吉組	玉城組	龜四組	玉城組	
七月六日	七月六日	七月十四日	七月十四日	七月六日	七月十四日	七月十四日	八月二日	八月十日	八月八日	八月十日	八月十日	八月十五日	八月十六日	八月十七日	即日	
四十四日	九日	六日	十四日	五日	八日	三日	十七日	五日	二日	四日	六日	八日	二日	一日	全日	
圖南丸	圖南丸	全	全	全	圖南丸	全	試驗用	濱元丸			大本丸部	大本丸部	重賽丸部	本榮丸部	大榮丸	勝榮丸

八月二日風浪ノ爲メ逃逸ス 長期誘養中

一、一〇〇斤トシテ圖南丸ニ供ス

四五〇斤トシテ給與

六七〇斤

三三〇斤

九三斤半

四〇斤トシテ試驗用ニ供ス 八月二日風浪ノタメ

全部逃逸

八月二日風浪ノタメ一籠全部逃逸殘二籠陸揚ゲ

二八〇斤

魚体過大ナルモノ市販賣適當ナルモノ五〇〇斤位殘ル

風浪ノタメ逃逸シ一〇〇斤位殘ルノミ

風波ノタメ網破レ皆流失

魚體過大餌料不適當ニ付那那市場販賣

九三五斤

一〇〇斤 殘餌全部本部各漁船へ配給ス

三五〇斤トシテ

五三二斤トシテ

三〇〇斤

總二郎組		六月二十日		六月二十七日		六月二十九日		六月三十日		七月五日		總二郎組	
小	平均	大	中	小	平均	大	中	小	平均	大	中	小	平均
三寸九分	四寸五分	四寸一分	四寸〇分	三寸八分五厘	三寸九分八厘	四寸二分五厘	四寸三分	四寸	三寸七分	四寸八分	四寸四分五厘	四寸五分	四寸六分五厘
二寸六分	三寸	二寸八分	二寸七分五厘	二寸七分五厘	二寸七分三厘	二寸九分五厘	二寸八分五厘	二寸七分五厘	二寸五分	二寸七分	三寸	二寸七分五厘	三寸二分
八分	八分五厘	九分	八分五厘	八分三厘	八分六厘	七分五厘	八分	九分	八分	一寸一分	九分五厘	八分五厘	九分七厘
斤四〇尾				一斤四八尾		一斤三五尾	一斤三四尾		一斤三五尾				
				一斤三二尾									

龜四組		七月八日 玉城組		七月十二日 龜二郎組		七月十七日 廣吉組		八月五日 龜四組		八月三十一日 玉城組		九月五日 廣太郎組	
平均	大	平均	大	平均	大	平均	大	平均	大	平均	大	平均	大
四寸三分	四寸六分五厘	四寸二分	四寸四分三厘	四寸五分	四寸三分五厘	四寸二分	四寸五分	三寸二分	三寸五分	六寸八分五厘	五寸五分	七寸五分	四寸六分
三寸〇分	三寸三分	三寸八厘	三寸	三寸四分	二寸九分	二寸三分	二寸八分	二寸三分	二寸五分五厘	四寸六分	三寸六分	四寸六分	三寸八分七厘
九分	一寸	八分五厘	九分	九分五厘	九分二厘	七分五厘	九分	七分	八分	一寸五分五厘	一寸二分	一寸七分	一寸三分五厘